

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年8月21日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社ナカボーテック
所 在 地	〒104-0033 東京都中央区新川 1-17-21
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 木村 浩
担 当 者 連 絡 先	電 話：03-5541-5816
	メー ル：k.tanaka@nakabohtec.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.nakabohtec.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、1951年に創業し防食、防錆及び防水に関する事業を開始しました。港湾インフラ施設の電気防食、被覆防食、塗装防食の技術の中から環境及び対象施設に適した工法を選定し工事及び製品等販売を行っています。当社が営む港湾施設の電気防食、被覆防食、塗装防食は、港湾インフラ施設の長寿命化を通じて廃棄物削減・資源保護・災害防止を実現し、持続可能な社会の実現に貢献するものです。加えて、洋上風力施設の電気防食技術を提供することにより、再生可能エネルギーの導入等を促進する一助となることを期待されております。
--

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 ✓社会 □経済	・カーボンニュートラル実現に向けた CO2 の削減及び環境負荷低減への継続的な取組 ・再生可能エネルギー事業の参画	・社用車のハイブリッド車への更新 100% EV 車導入を検討 ・自社敷地内への太陽光パネル設置検討 ・洋上風力発電関連事業の工事受注 5 件
□環境 ✓社会 ✓経済	・業務効率化による時間外労働の短縮	・時間外労働 45 時間未満／月、 360 時間未満／年 の達成
□環境 ✓社会 □経済	・ダイバーシティ経営の推進 ・「働き易さ」と「働き甲斐」の両立	・全基幹職採用のうち女性基幹職採用 20% ・コンプライアンス、ハラスメント研修の実施 ・健康優良企業継続及び「くるみん」認定取得

(次項へ続く)

(様式第2号)

企業・団体名(株式会社ナカボーテック)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテ ゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3												
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9						
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8							
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1	
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13		
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3		

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	業務に使用する化学物質を把握し、SDSを入手・周知したり、危険物取扱者を配置する等、適正な使用に努めています。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	溶解炉、保持炉を電気炉とし、ばい煙等大気汚染の発生が無いよう配慮しています。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	貯水槽1回あたりの加工作業の複数回化等、工程で使用する水道水の効率的な利用を進めています。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	—			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	環境基本方針に則り、必要に応じて適宜開示を行っています。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	自社工場内において、ソーラーパネルの設置等再生可能エネルギーの利用を検討しています。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	—												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	製品の安全性確保のため各種SDSの整備およびリスクアセスメントの実施、定期的な安全衛生委員会における情報発信や現場安全パトロールを実施しています。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	品質マネジメントシステム(ISO9001)運用及び不具合防止のため、品質保証室を組織し、品質管理委員会および小委員会にてISOのルール解説や現場品質パトロールを定期的に実施しています。									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	—						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	—	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	防食事業を通じて各地域のインフラ整備やライフラインの維持・延命に貢献するよう事業活動を行っており、近隣住民の皆様に配慮して騒音や粉塵の防止に努めています。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	ジャパンプルーエコノミー技術研究組合／ブルーカーボン・クレジット制度(Jブルークレジット)において、自然系炭素除去のプロジェクトに貢献しているほか、本社や各支店において清掃ボランティアを行うなど、積極的に取組んでいます。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	防食事業に関わる労働者及び資機材について、地元企業の起用など各地域での調達に努めています。								8	9		11	12	13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している								8	9								17
29		【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している																16	
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																16	
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																16	17
32		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																16	
33		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																16	
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している									9		11		13.1			16	
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。 ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。） ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。
--

(様式第4号)

令和7年 10月 17日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 〒104-0033 東京都中央区新川 1-17-21

名称： 株式会社ナカボーテック

代表者： 代表取締役社長 宮地 誠

登録年月日： 令和6年 9月 30日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 □経済	・カーボンニュートラル実現に向けた CO2 の削減及び環境負荷低減への継続的な取組 ・再生可能エネルギー事業の参画	・社用車のハイブリッド車への更新 100%EV 車導入を検討 ・自社敷地内への太陽光パネル設置検討 ・洋上風力発電関連事業の工事受注 5 件	・ガソリン車からハイブリッド車への切替え、達成率 37% ・太陽光パネル設置検討および再エネ由来電力等への切替え検討業務を実施 ・洋上風力発電関連事業の工事受注 2 件
□環境 ✓社会 ✓経済	・業務効率化による時間外労働の短縮	・時間外労働 45 時間未満／月、360 時間未満／年の達成	・2024 年度の時間外労働 45 時間未満／月、達成率 96.2%。360 時間未満／年、達成率 87.6%。
□環境 ✓社会 □経済	・ダイバーシティ経営の推進 ・「働き易さ」と「働き甲斐」の両立	・全基幹職採用のうち女性基幹職採用 20% ・コンプライアンス、ハラスメント研修の実施 ・健康優良企業継続及び「くるみん」認定取得	・全基幹職採用のうち女性基幹職採用、達成率 7.5% ・全従業員に対し社外講師によるハラスメント防止研修およびe ラーニングによるメンタルヘルス・セルフケア、コンプライアンス講習の実施 ・健康優良企業継続及び「くるみん」認定取得申請準備中